

プログラム

14:00 基調報告 「広島湾再生行動計画」について

藤田武彦氏 国土交通省 中国地方整備局長

14:20 広島湾再生ロゴマーク発表式

14:25 トークセッション

コーディネーター

岡田光正氏

広島大学大学院工学研究科教授 / 広島湾再生推進会議アドバイザー

プレゼンター

平田 靖氏 「かき養殖を中心とした広島湾の生物生産」

広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター 副主任研究員

原田 優子氏 「広島湾における郷土の食文化」

学校法人原田学園 広島酔心調理師専門学校 校長

川崎 健氏 「広島かきの現状」

地御前漁業協同組合

中村 成朗氏 「広島湾域の交流と連携による地域活性化」

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会 運営委員長

山田 知子氏 「地域との協働による広島湾の魅力の発見とその活用」

比治山大学 現代文化学部 地域文化政策学科 准教授

藤田武彦氏

国土交通省 中国地方整備局長

17:00 閉会



Takehiko Fujita

藤田武彦

【主な経歴】

昭和50年 運輸省 入省
平成13年 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部部長
平成14年 国土交通省 海事局 国内旅客課課長
平成16年 国土交通省 関東運輸局次長
平成17年 国土交通省 中国地方整備局副局長
平成20年 国土交通省 中国地方整備局長 現職

コーディネーター



Mitsumasa Okada

岡田光正

広島大学大学院 工学研究科 教授
広島湾再生推進会議 アドバイザー

【ご経歴】

昭和49年 環境庁国立環境研究所 研究員
昭和51年 米国環境保護庁 Corvallis 環境研究所客員 研究員
昭和60年 東京農工大学工学部 助教授
平成3年 広島大学工学部 教授
平成16年 広島大学大学院工学研究科長・工学部長
平成17年 広島大学理事・副学長
平成19年 広島大学大学院工学研究科 教授 現職

環境化学工学や生態工学を専門として、人工干潟や高度浄水処理、水環境における有害化学物質の挙動といった水環境の保全・再生に関する幅広い分野の第一線でご活躍されている。また、学外においても環境省中央審議会臨時委員や広島県環境審議会会長、(社)日本水環境学会顧問などを歴任され、平成17年度には環境科学会学術賞を、平成18年度には環境大臣賞を受賞されている。

～ 一言コメント『あなたと広島湾(海)とのかかわりは?』～

東広島市安芸津町、海の目の前に住んでいます。毎日、目の前に広がる瀬戸内海(安芸灘)を眺めながら、魚が捕れなくなった海?ゴミが多くなった海?水質は?藻場は?とその行く末を気にしております。



Ken Kawasaki

川崎 健

地御前漁業協同組合

【ご経歴】

川崎水産 代表 現職
有限会社 地御前浜商店 取締役 現職
平成 13 年 地御前漁業協同組合 青年部長(～平成 14年)
平成 14 年 漁業青年連絡協議会・かき養殖部会 会長 現職

中学時代からかき養殖のしごとを手伝ってこられたという“かき養殖のスペシャリスト”。漁民の森づくりといった事業の企画・参加や、かき生産改善技術開発試験の実施、全国カキサミットへのパネリストとしての参加などかきに関する幅広い活動でご活躍されている。また、京橋川・水辺のオープンカフェへのかき料理専門店の出店や広島バーガー(カキフライバーガー)の発案など、かきの食文化の発展にも力を入れておられる。

～ 一言コメント『あなたと広島湾(海)とのかかわりは?』～
毎日、海におります。



Seirou Nakamura

中村 成朗

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
運営委員長

【ご経歴】

昭和 59 年 中村角株式会社 代表取締役 社長 現職
平成 元年 広島商工会議所 議員 現職
平成 3 年 広島商工会議所 副会頭 (～平成9年)
平成 12 年 広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会 運営委員長 現職

総合食品卸の社長として従事なさる一方、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会運営委員長として特に地域における観光資源の開発などを行なってこられた。近年は、広島湾ベイエリアにおける体験型観光ルートの開発事業などを行なっておられ、体験型の修学旅行の誘致にも力を入れておられる。平成元年には文部大臣表彰、平成 12 年には監授褒章も受章されている。

～ 一言コメント『あなたと広島湾(海)とのかかわりは?』～
広島湾域 7 市 3 町の官民による連携と交流を通じて、湾域各地に息づく歴史・文化・自然・産業等の貴重な資源を活用し、交流人口の拡大を図り、地域活性化につなげたいと考えています。



Yuko Harada

原田 優子

学校法人原田学園
広島酔心調理師専門学校 校長

【ご経歴】

株式会社酔心勤務、株式会社酔心興栄取締役を経て
平成 3 年 学校法人原田学園 理事
平成 14 年 学校法人原田学園 広島酔心調理師専門学校 校長 現職

「父が作る海の幸の味は格別なものであった。広島のと、父の料理の記憶は、当然のこと、私の人間形成と今日まで歩んできた道に大きな影響を与えている。」と原田氏はおっしゃる。お父様の影響で、ご自身も自然と「食」の道を選ばれたとのことで、現在は、「食」の道を志す若者達を一人前の調理師に育てる日々を過ごされている。最近では特に小、中学校での出前授業など、子ども達の「食育」にも力を入れておられる。

～ 一言コメント『あなたと広島湾(海)とのかかわりは?』～
広島のとと父の料理の記憶は、私の人間形成と歩んできた道に大きな影響を与えています。最近では出前授業等を通じて子供たちの「食育」に少しでも役立てればと思っています。



Yasushi Hirata

平田 靖

広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター 副主任研究員

【ご経歴】

昭和 62 年 広島大学大学院生物圏科学研究科 博士前期課程修了(農学修士)
平成 元年 広島県福山農林事務所水産課 技師
平成 3 年 広島県水産試験場(現 水産海洋技術センター) 研究員 現職

広島湾の江田島市のご出身で「海は特別なものではなく、空気のような存在で、生き物の名前は知らなくても美味しいものはわかっているつもりです。」と平田氏はおっしゃる。10 年以上にわたり、かきに関する研究に従事され、平成 16 年度には「マガキの人工採苗技術開発に関する研究」で日本水産学会賞技術賞を受賞されている。

～ 一言コメント『あなたと広島湾(海)とのかかわりは?』～
最近の海は、食べ物を生産する力を持っているのに、これを発揮できないもったいない状態になっているといえます。この状態をなんとか変えることができれば、身近な海は、我々に安心・安全な食べ物を永久に供給し続けてくれると思います。



Tomoko Yamada

山田 知子

比治山大学現代文化学部
地域文化政策学科 准教授

【ご経歴】

昭和 61 年 奈良女子大学大学院家政学研究科修士課程修了
平成 2 年 比治山女子短期大学 講師
平成 9 年 比治山大学 短期大学部 生活学科 助教授
平成 16 年 比治山大学 現代文化学部 地域文化政策学科 准教授 現職

過疎化や高齢化、ジェンダー、地域社会などの分野において、地域の魅力を発見することをテーマとした公開授業やワークショップを開催なさるなど、精力的な研究活動をなさっている。また、学外では広島県環境審議会委員、(社)広島県観光連盟理事などを歴任されている。共著者として「生活と環境の人間学」(昭和堂)、「暮らしと環境の視点」(学文社)などを執筆されている。

～ 一言コメント『あなたと広島湾(海)とのかかわりは?』～
少子・過疎・高齢化の進む瀬戸内海島嶼地域における「家族」と「地域社会」との機能連携のあり方が研究テーマです。